令和六年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年　4月
学校法人育英幼稚園

1.本園の教育目標

・幼児期にしかできないさまざまな遊びや活動を通した生活の中で、
　社会のルールを学び、思いやる心や豊かな感性、生きる力・学習の根を育む
・居心地の良い温かな環境の中で、一人ひとりの子どものよいところを認め、伸ばす
・家庭と幼稚園が手を取り合って、一緒に子どものことを考える
・全教員が全園児と関わる

2.令和六年度　重点項目・教育課程→別紙参照（年間教育課程）

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		評価	取り組み状況
1	教育課程 環境の充実	A	・各学年の発達に基づき五領域に沿った教育課程を作成、 保育に反映させた。 ・保育者は教育的配慮をもって物的環境を構成している ・人的環境として子どもが全ての活動に主体的に 取り組めるよう一人ひとりに応じた援助を行っている ・月ごとのカリキュラム作成においても職員間で話し合い、 活動におけるねらい、目的を確認し例年にとらわれることなく 新たな活動も取り入れた
2	教育内容 方法の充実	A	・コロナウィルス感染症の５類移行に伴い、感染に気を付けつつも、制限を解除 できる環境を整えながら保育をおこなった。 戸外では暑い時期に熱中症予防としてマスクの管理を行いながら水分補給に努め 尚且つ子どもたちが思い切り体を動かし、自主的に好きな遊びを楽しむ環境を 守り整備した。 ・運動会、遠足、音楽会、発表会などの大きな行事は制限の解除を踏まえ 実施方法を見直し、観覧できる保護者数を拡大しながら遂行した。
3	教師の役割 資質向上	A	・毎日保育後に職員会議を行い、クラスの子どもたちの成長、課題、 今後の留意点を報告、相談し今後につなげた。全職員が全園児への共通理解を 深めることによって子どもへの対応に相違がないよう努めることができた。 ・夏には教員自身が深めたい内容や保育課題を意識し、研修会に参加するなどして 自己研鑽に努めた。 ・写真や動画を用いた園内研修を随時行い、教職員間で理解を深めあい、子どもの 理解につなげた。その中で保育日誌を刷新し、教員間での情報の共有がしやすい 環境を整えたことにより、教育の質向上にもつながった。
4	家庭との連携 子育て支援	B	・降園時に、子どもたちのその日の様子を一言保護者へ伝えることで家庭との 連携を深め信頼関係の構築につなげていった。 ・日常保育における活動の様子を保護者へお知らせするため 幼稚園ホームページの更新を随時行い、情報の発信に努めた。 ・令和5年度教育水準向上補助金により連絡用アプリを導入でき、出欠席連絡などに おける保護者の利便性を高めた。おたよりやドキュメンテーションを各家庭 に配信できる回数も増え、保護者への教育理解を高めることができた。 ・通常の預かり保育に加え、預かり保育中におこなう習い事を取り入れることで 送迎の負担を軽減できるため支援の必要な家庭に協力することができた ・行事の際の弟妹の預かりや撮影についてのルールを明確にする必要があった
5	安全、衛生 危機管理の 充実	A	・感染症の発生時などには掲示による注意勧告を行い、拡大防止に努めた。 ・今年度も充実した保育に取り組むとともに、子どもたちの手洗いを習慣化し、 衛生意識を育むように努めた。 ・地域の警察署と連携し防犯訓練を行い、緊急時などの職員の対応について 共通意識を持ち対策を行ってきた。 ・子どもの食事等普段の保育で起こりうる事故などを想定し、明確化したルールを 保護者にも通知するなどして事故防止に努めた。

評価（A…十分に成果があった　　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

4.総合的な評価結果

評価	理由
A	５つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、物的環境、人的環境ともに十分に 配慮された保育内容となった。 本園カリキュラムの二つの大きな柱である「自発的な遊び」と「みんなで共有する活動」を基本とし 一人ひとりの子どもを大切にした質の高い教育を実践することができた。 学校関係者評価委員会においても、ICTの活用が進んだことによる、教員の負担軽減や保護者との連絡 等における利便性の向上が評価された。 今後の課題としては行事の折の撮影のルールや弟妹の預かりについてを明確にすることがあげられる。

評価（A…十分に成果があった　　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

２０２４年度　育英幼稚園保護者アンケート

（実施期間）　2024年2月25日～3月31日
（全園児数）　124名
（回答数）　115名

【質問１】　お子様は育英幼稚園に喜んで通っていますか。

１．そう思う　112名（97.4%）
２．ややそう思う　2名（1.7%）
３．どちらともいえない　1名（0.9%）
４．ややそう思う　０名（０%）
５．そう思わない　０名（０%）

【質問２】　育英幼稚園は、集団生活に必要な決まりや基本的な生活習慣が身に付くよう指導していると思われますか。

１．そう思う　107名（93.0%）
２．ややそう思う　7名（6.1%）
３．どちらともいえない　1名（0.9%）
４．ややそう思う　０名（０%）
５．そう思わない　０名（０%）

【質問３】　育英幼稚園は、子ども一人一人の個性や発達に応じた対応を心がけていると思われますか。

１．そう思う　105名（91.3%）
２．ややそう思う　7名（6.1%）
３．どちらともいえない　2名（1.7%）
４．ややそう思う　０名（０%）
５，そう思わない　1名（0.9%）

【質問４】　育英幼稚園は、創意工夫のある教育をし、子どもに様々な経験ができるようにしていると思われますか。

１．そう思う　110名（95.7%）
２．ややそう思う　5名（4.3%）
３．どちらともいえない　０名
４．ややそう思う　０名
５．そう思わない　０名

【質問５】　育英幼稚園は、行事の計画や開催の仕方など工夫していると思われますか。

１．そう思う　99名（86.1%）
２．ややそう思う　12名（10.4%）
３．どちらともいえない　4名（3.5%）
４．ややそう思う　０名
５．そう思わない　０名

【質問６】　育英幼稚園は、野菜の栽培、虫や植物との触れ合いなどを通して自然とのかかわりを大切にしていると思われますか。

１．そう思う　113名（98.3%）
２．ややそう思う　2名（1.7%）
３．どちらともいえない　０名
４．ややそう思う　０名
５．そう思わない　０名

【質問７】 **育英幼稚園は、子どもの安全を考えた防犯、防災対策を行っていると思われますか。**

１．そう思う　105名（91.3%）
２．ややそう思う　8名（7.0%）
３．どちらともいえない　2名（1.7%）
４．ややそう思う　０名
５．そう思わない　０名

【質問８】 **育英幼稚園は、降園時やおたより、ホームページでの伝達・保護者面談などで、園でのお子様の様子や活動を伝えようと心がけていると思われますか。**

１．そう思う　95名（82.6%）
２．ややそう思う　18名（15.7%）
３．どちらともいえない　1名（0.9%）
４．ややそう思わない　1名（0.9%）
５．そう思わない　０名

【質問９】 **育英幼稚園はカンガルークラブ・ひよこサークル・子育て相談など、子育て支援を行っていると思われますか。**

１．そう思う　85名（73.9%）
２．ややそう思う　20名（17.4%）
３．どちらともいえない　8名（7.0%）
４．ややそう思わない　1名（0.9%）
5．そう思わない　1名（0.9%）

【質問10】 **育英幼稚園に入園させて良かったと感じておられますか。**

１．そう思う　111名（96.5%）
２．ややそう思う　2名（1.7%）
３．どちらともいえない　1名（0.9%）
４．ややそう思わない　０名
５．そう思わない　1名（0.9%）

学校関係者評価

委員　幼稚園・地域住民・保護者　各3名計９名

昨今の少子化や女性の就労者増加により都内の幼稚園の入園希望者数が減少している中
来年度の入園児が確保できていることは評価できる。しかし、子どもを取り巻く環境の変化は
確実に園の存続の不安に繋がる危機感を擁している。今後に向け、社会のニーズに応えながら
創立以来培ってきた質の良い幼児教育を保ち、幼稚園が存続されることを当園の目標と考える。

第三者評価

２０２４年実施された保護者アンケートではどの項目も満足度がうかがえる高いポイントとなっており、特にQ４「創育工夫した教育、様々な経験・・」では「そう思う95.7%」「ややそう思う4.3% 」を合わせて100％のポイントとなっている。育英幼稚園が子どもそれぞれと向き合い工夫した教育の取り組みをしていることが読みとれる。さらにQ6「野菜の栽培虫や植物とのふれあいを大切にしている」が高いポイントとなっており、この取り組みは感性を磨き思いやりの心をはぐくみ、その後の人格形成に大きく影響する教育と考えられ、今後も継続して取り組んでほしい教育である。こうした取り組みが子どもたちにとって楽しく充実した園生活となりＱ１の高い数字となった要因の一つであると捉えることが出来きるだろう。

そのほか、安全や行事、お便り、未就園児のクラスについてではごく少数ではあるが「そう思わない」と回答した保護者もいることを今後の検討材料ととらえ、育英幼稚園の信条を守りつつ今後も子どもの未来を見据えた教育の実践を望みたい。

齋藤恵子　前貞静学園短期大学教授　羽田幼児教育専門学校特任講師